

健康と環境



健康とは

【WHO憲章, 1947】

Health is a state of complete physical, mental and social well-being and not merely the absence of disease or infirmity.

「健康とは、肉体的、精神的および社会的に完全に良い状態にあることであり、単に疾病または虚弱でないということはない」

2

健康概念の変化

19世紀中頃

現在

身体概念 → 心身概念 → 生活概念

- 文化をもった有機体としての”ヒト”は、人間の生活のなかで考えられ、取り扱わねばならない

3

健康現象 health phenomena

●いわゆる健康な相 positive health

●健康破綻の相 negative health

- ・disease : 疾病, 疾患, 障害
- ・sickness : 病気
- ・illness : 具合が悪い

4

病気の分類 (WHO, 1980)

- (1)機能障害 impairment
心理的または生理的機能が異常に損なわれていること (主に臓器レベル)
- (2)能力障害 disability
機能障害のために、普通ならできることが制限されたり、欠けたりしていること
- (3)社会的不利 handicap
機能障害や能力障害のために、普通の社会的役割が制限される、あるいはできない

5

包括的医学 comprehensive medicine

1. 健康時の健康の世話から、健康破綻からの回復にいたる健康事象全般にわたる世話
2. 疾病という現象ではなく、病気にかかっている”ヒト”を人間として把握

個人の環境、歴史、社会的存在としての認識

- 考え方だけではなく、医学の実践面においても要求される。

6

臨床医学により健康の世話を受ける患者側の条件

- (1) 自分の健康に何か問題のあることを知っている。
- (2) その解決法を知っている。(医師にかかるなど)
- (3) その解決のための自己資源、社会資源をもっている。



現在の医療制度のみでは、日本人の健康全般を包括的にみることは困難。

7

入口による医療の分類

●個人を入口とする医学：
臨床医学、医学の実践面の中核

●集団を入口とする医学：
公衆衛生的アプローチ
対象領域：

- ・事業所 : 生産活動の場
- ・学校 : 教育の場
- ・地域社会 : 家族生活、近隣関係

8

公衆衛生の定義

Public health is the science and art of preventing disease, prolonging life, and promoting physical and mental health and efficiency through organized community efforts for the sanitation of environment, the control of community infections, the education of the individual in the principles of personal hygiene, the organization of medical and nursing service for the early diagnosis and treatment of disease, and development of social machinery which will ensure to every individual in the community a standard of living adequate for the maintenance of health.

*By Charles Edward A. Winslow (1877-1957)

9

公衆衛生の定義(和訳)

公衆衛生は環境の衛生、伝染病感染の防止、個人衛生に関する各人の教育、疾病の早期断と予防治療のための医療、および看護サービスの組織ならびに健康保持に必要な生活水準を各人に保障する社会的機構の整備を目的とした共同社会の組織的努力を通して、疾病を予防し、生命を延長し、健康と活動能率を向上し、すべての住民に生来の権利である健康と長寿を得させるため、組織的に上記の成果をとりまとめようとする科学および技術である。

10

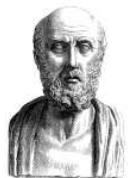
公衆衛生活動

- ・目的：
疾病予防、寿命の延長、肉体的、精神的健康と能率の増進など
- ・具体的な主な努力内容：
 - (1) 環境整備
 - (2) 感染症予防
 - (3) 健康教育
 - (4) 医療看護サービスの組織化
 - (5) 社会制度の改善 (生活水準の保障)

11

欧米における公衆衛生の歴史

- (1)医学の祖ヒポクラテスHippocrates
約2400年前, BC 460-370?



『空気・水・場所について』

季節の影響, 南北の位置, 用いる水, 職業, 飲食物, 生活の規律などの重要性

*ギリシャ・エーゲ海のコス島出身
コス派の総称?

12



コス島
アスクレピオス神殿



ヒポクラテスの木
(プラタナス)

(2)ローマ帝国時代

- ・紀元前6世紀頃 大排水溝をつ
- ・紀元前312 最初の上水道



・Galenus(AD 130-200?)

- ・衣食住の重要性を指摘。
- ・衛生学を“Hygiene”とよぶ
ギリシャ神話の医術の神Aesculapius
の娘で健康の女神Hygieiaにちなむ

* (一説に Diokles によるともいわれる)

14

(3)ローマ帝国滅亡後、中世の暗黒時代

- ・巡礼，十字軍などの大集団の移動により，流行病の大発生（コレラ，ペストなど）
- ・黒死病（ペスト）：
十字軍の遠征，ヨーロッパと近東・中国間貿易のためといわれる。
14世紀中葉のペストによる死者は，ヨーロッパ全土で約2500万。1400年までに世界中で1億人近くが死亡。

15

検疫制度

- ・1348年 **ベニス**：患者，疑似患者が乗船中の船舶の入港禁止
- ・1377年 **ラグサ**：レパトンとエジプトからの入港は30日間待機，隔離一後に，40日に延長
- ・1383年 **マルセイユ港**：
海港検疫法を制定：40日間の停泊措置

Quarantineの語源：イタリア語Quaranta=40

16

(4)ルネッサンス以降

1700年 **B. Ramazzini**：De Morbis Artificum diatriba
「労働者の疾病」：職業病について

1779-1817年 **J. P. Frank**：System einer
vollständigen medizinischen Polizei

「完全な医学警察制度」：衛生行政の書

1849年 **R. Virchow**（ドイツ）：

公衆衛生法草案の作成：医学は社会科学で，
政治とは大規模な医学にほかならない。

- ・環境改善のみが実現 sanitary reform

18世紀の終わり頃：フランスでは社会扶助に関する法律が制定される－医療扶助を含む

17

(5)19世紀の英国

産業革命が進行するにつれ，個人の自由と健康が犠牲となる。

Ed. Chadwick：英国における貧困階級の衛生状態についての調査報告

1848年 **Public Health Act** 公衆衛生法制定

General Board of Health for England

「イングランド中央保健局」設置

J. Simon：初代のロンドン保健医官

➡ **公衆衛生の第1期：伝染病の流行予防**

18

(6)19世紀のドイツ:公衆衛生の第2期

1876年 Max Von Pettenkofer (1818-1901)

ミュンヘン大学に衛生学講座を開設(1879年に正式創設?) - 実験衛生学の確立

1882年 R. Koch 結核菌、1883年コレラ菌発見

Pasteur, Koch, Behring ら 細菌学, 免疫学
Manson, Rossらにより寄生虫学, 寄生虫病学

➡ 特異的予防方法: 予防接種

1892年コレラ菌の自飲実験

19

(7) 19世紀終-20世紀にかけて

英国: Ch. Booth, B. S. Rowntreeの研究

労働者の多くが, 社会経済的理由から貧困に陥る: 貧困→窮乏, 疾病, 非行

社会改良運動, セツルメント運動

1907年 国際衛生事務局がパリに創設

1920年 国際連盟 (ジュネーブ)
シンガポールに東洋支局
(伝染病の流行阻止)

20

(8) 第二次世界大戦後

1945年 国際連合が創設
世界保健機構WHO

1972年 スtockホルム
人間環境に関する国連会議

1974年 世界人口年 (国連世界人口会議)
136ヶ国 世界人口行動計画草案が審議:
人口爆発を解決するための国際協力がすすめられる。

21

公衆衛生の第3期から第4期へ

第3期:

抗生物質, 化学療法剤, インスリン,
抗結核剤, 抗精神薬など-病院医療の定着
⇒ 公衆衛生は停滞

第4期: キュアcureよりケアcareの時代

近代医療の限界: 環境対策, 生活習慣の改善,
適正な保健医療福祉制度の確立が必要 (M. Larond, 1974)

22

日本における衛生・公衆衛生の歴史

「衛生」とは:

長与専斎: 九州大村藩 (長崎県) の藩医
1871年11月岩倉具視に随行して欧米の医療事情を視察。

米国で "sanitary" なる言葉: 意味不明。
ドイツで "Gesundheitspflege" をきき了解。

従来の日本の医学にない概念であり,
「衛生」と訳す。

⇒ 「生を衛る (荘子の庚桑楚篇)」

23

「養生」と「衛生」

漢方医学では「養生」という考え方

貝原益軒の「養生訓」(1703年)

杉田玄端の「健全学」(1867年)

個人的・消極的 社会的・積極的



24

日本の衛生・公衆衛生学の歴史

緒方正規（1853年生）日本の衛生学の創始者

1880年（明治13年）東京大学医学部卒
ドイツ留学

1885年 東京大学講師

1886年 東京大学教授

以後1919年まで33年間、衛生学を教える。
教育者として優れ、多数の衛生学者を養成

・同時代の優れ三人

森林太郎，北里柴三郎，後藤新平

25

森林太郎(鷗外)(1862-1922)

1881年 東京大学医学部卒 陸軍軍医

1884年 ドイツ留学（3年間）
帰国後，陸軍軍医学校教官

・栄養学の立場からみた兵食の研究

・兵食と脚気問題を扱ったもの
米食とは無関係であるとする立場

海軍との対立：高木兼寛の航海実験

ビタミン説の前に敗れるが，問題解決

に対して優れたものがあつた

（統計学的接近など）

26

北里柴三郎(1852-1931)

1883年 東京大学医学部卒

1886年 ドイツ留学：コッホの下で研究
（6年間），帰国後，適当な地位がないため
内務省は「伝染病研究所」設立（所長）

・東大派と対立

1914年 伝染病研究所が内務省から文部省
に移管 ⇒東大の管轄下に入ると決定
政府決定に激怒 ⇒「北里研究所」設立
その後，慶応大学医学部を創設し，医学教育
に専心。医師会長などを務める。

27

後藤新平(1857-1929)

1876年 福島県須賀川医学校卒

1889, 1890年「国家衛生原理」

「衛生制度論」

内務省衛生局，衛生局長

1897年 台湾民生長官

1906年 満鉄総裁

その後，逓信大臣，外務大臣，内務大臣，
東京府知事歴任。

公衆衛生の生活面，衛生行政上の功績。

28

疾病の流行と制度整備

1897年 伝染病予防法：コレラ死亡が数千人

1904年 結核予防に関する件：内務省令

1919年 結核予防法

結核死亡：1900年頃人口10万対160

⇒1918年 257 ⇒ 1932年 200前後 ⇒ 終戦

1932年までは，死亡率は女子で高かったが
以後男子で高率となる。急速な工業化にと
もない，農村から都市へ，若い感受性者が
多数流入。20歳台の結核死亡率は500超。

1938年 厚生省設立（陸軍が危機感をもつ）

29

公衆衛生の台頭

- ・終戦後，米軍を主とする占領軍により，
Public Health 「公衆衛生」が広く使用。
衛生に比べ，実践的，応用的。

30

終戦後、公衆衛生上の重点政策

- ①急性伝染病対策：コレラ，天然痘，発疹チフスなどの防疫，検疫
- ②慢性伝染病対策：結核，性病など
- ③母子衛生：1947年児童福祉法
- ④栄養改善：戦争に伴う食糧事情の悪化による低栄養が社会問題であった。

31

保健所と新しい問題

- ・ 健所の活躍

1937年 (旧) 保健所法制定

1947年 旧保健所法の改正

1948年 保健所法公布

⇒1960年代にほぼ目標を達成

- ・ **新しい問題の登場**

公害／環境問題，成人病／生活習慣病など

32

公害／環境問題

1960年以降，公害による健康被害。

1967年 公害対策基本法

1968年 大気汚染防止法，騒音規制法，
(消費生活基本法)

1972年 労働安全衛生法

1991年 再生資源利用促進法

1998年 環境影響評価法

⇒ 新たに地球環境問題

- ・ **単に，公衆衛生上の問題ではなく，政治，経済，社会的問題**

33

成人病／生活習慣病

がん，脳卒中，心臓病，糖尿病などの増加。
国民の平均寿命が延長し，老人層が増加。



生活習慣病の予防
高齢者の介護・福祉

34